

2023年12月発行 VOL.121

なぴあ

公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌



弁論大会終了後、出場者と一緒に

第15回 ~語り合おう in Nagasaki~

外国人による日本語弁論大会を開催しました！

2023年10月14日（土）、「第15回～語り合おう in Nagasaki～外国人による日本語弁論大会」を国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で開催しました。大会には、4カ国11名の長崎県在住の外国人が出場しました。出場者は、日頃アルバイトなどで接する長崎県民の方言や日本での生活の中で感じた小さな幸せ、また世界平和への願いなど様々なテーマでスピーチを行いました。

来場者の皆様からは、「日本人が思っている以上に、外国人にとっては言葉が大きな壁になっていることに気づかされた。もっと多くの日本人に聞いてほしいと感じた。」「若い外国人の方々が、苦労しながらも感性豊かに様々な経験をされていて感銘を受けました。来年も楽しみにしています！」などのお声をいただきました。

外国人の方々の視点は、私たちが普段気付かないようなものも多く、自らを見つめ直す貴重な機会になりました。努力を重ね、大会に出場してくださった外国人の皆様、心に残る素晴らしいスピーチをありがとうございました！

《開催概要》

- 日 時：2023年10月14日（土）13:30～16:00
- 会 場：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 地下2階 ラウンジ（長崎市平野町7-8）
- 主 催：外国人による日本語弁論大会実行委員会
公益財団法人長崎平和推進協会／公益財団法人長崎県国際交流協会
- 協 賛：長崎商工会議所、オリエンタルエアブリッジ㈱、JR九州㈱長崎駅
- 出場者：11名の長崎県在住外国人
- 来場者：85名

入賞者のスピーチは
当協会のHPから視聴
することができます！



（公財）長崎県国際交流協会

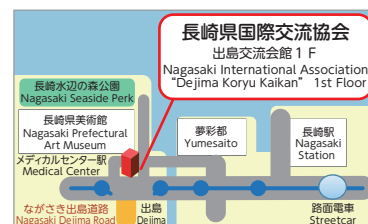
〒850-8062 長崎県長崎市出島町2番11号
TEL 095-823-3931/095-823-3929
FAX 095-822-1551/E メール nia@nia.or.jp



協会公式 HP



Facebook



～外国人による日本語弁論大会入賞者の紹介～



最優秀賞 「靴下にジャガイモ」
チャン ミンス
JANG MINSUさん（韓国出身／長崎総合科学大学）



皆さんこんにちは。私は韓国から来た留学生です。今日は私が長崎で暮らす中で面白いと思ったことについて話をしたいと思います。

私は長崎の方言に興味があります。その方言の中で一番可愛いと思った言葉があります。それは、「靴下にじゃがいも」という言葉です。皆さんはこの言葉をご存知ですか？（じゃがいもと靴下を見せながら）この靴下といきなりこのじゃがいもはどういう関係でしょうか？多分、長崎の方はご存知だと思います。すぐに正解を言うと面白くないから5秒ぐらい考える時間をあげます！（5秒）皆さん大丈夫ですか？この「靴下にじゃがいも」の意味は「靴下にある穴」のことです。長崎の方の中にはこの言葉が方言であることに気づいてない方がいらっしゃるほど普通に使います。どうしてじゃがいもかなと気になって調べてみたら長崎はじゃがいも生産地として有名な地域でした。「あ！なるほど！身近なものに例を得られてたんだ」と納得できました。

次に、私にとって今でも難しいし、慣れてない方言があります。それは小さい「つ」と「と」を一緒に使う方言です。例えば、「店長、どこ行ってるの？」を長崎方言では「店長、どこ行ととと？」と言います。その有名な例が「とととと」です。難しいから「とととと」という方言をご存知ない方はちゃんと聞いてください！行きます！「とととと？（ちょっと間）取とととてって言とととたとに、何で取とととてくれなかったと？」。多分初めて聞いた方には「あの人、変な音出してる」と思われると考えます。意味はちょっと長いから気になる方は個人的に調べることをお願いします。私も初めて聞いた時は「え？」ってなりました。この「と」を使った表現が長崎の方言というのを結構時間が流れてから知りました。

このように、日常生活の会話で長崎の方々は方言をよく使っています。私たち外国から来た人々はそれが方言であるということに気づかないことも多いです。特に年配の方がお使いになる長崎弁は理解するのが本当に難しいです。

でも、私は長崎方言に興味を持って勉強して、それを実際に使ってみました。ある日友達と会話の途中で「今お腹いっぱいやけん、ちょっと動きたか」と方言を使って話をしました。そうしたら友達が「方言も使えると？すごかね！」と言ってくれました。二人の距離がこれまで以上に縮まった気がしました。

方言を使うというのは、ただ単に言葉を使うということを越えて、その地域に溶け込んでいるということを表します。特に外国から来た人が長崎方言を使うのを聞いたら、相手は「長崎で一所懸命頑張ってるんだ」と感じてくださるようです。方言を通じてもっと長崎の友達を作ることができるのではないかと思います。皆さんも長崎の友達ができたら長崎方言を使ってみるのはいかがでしょうか。（原文のまま掲載しています）



第2位

「心の盆地」
ノーラン キャサリン
Nolan Kathrynさん
 （オーストラリア出身／波佐見高等学校）



**第3位
・
館長賞**

「日本と世界平和～長崎を最後の被爆地に～」
チャン ティ トウイ フォン
TRAN THI THUY HUONGさん
 （ベトナム出身／五島日本語学校）



未来賞

「ひとりぼっちだった私」
ダン ティ アイン ヒエン
DANG THI ANH HUYNさん
 （ベトナム出身／活水女子大学）



第25回ながさき国際協力・交流フェスティバルを開催しました！



「第25回ながさき国際協力・交流フェスティバル」を4年ぶりに長崎県庁で開催しました。当日は、約2,300人の来場者で賑わいました。今年は、監理団体も初めて出展し、国際交流や国際協力で活動する31団体が活動展示やゆかりのある外国の手工芸品の販売などを行ったほか、着物・茶道の体験ブースやベトナムの「像」の塗り絵体験のコーナー、外国料理の弁当等の販売コーナーも設けられ、ご来場の皆さまに大いにお楽しみいただきました。ご来場いただいた皆さま、ご出展いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！

《開催概要》

- 日 時：2023年10月29日（日）11:00～16:00
- 会 場：長崎県庁1階（長崎市尾上町3-1）
- 主 催：（公財）長崎県国際交流協会、フェスティバル2023盛り上げ隊
- 来場者数：約2,300名
- 出展団体：県内国際協力・交流団体31団体 ●出展ブース：39ブース



買 う



相談する

福岡出入国在留管理局にご協力いただき、ビザや在留資格などの相談ができるブースを設置しました。



体験する



団体の活動展示



フェアトレード商品の販売



お弁当・おやつ
の販売



セネガル料理のお弁当

世界でキラリ★JICA 海外協力隊



オ ラ コ モ バ イ ボ セ

Ola! como vai voce? こんにちは！元気ですか？

大浦 美香 (おおうら みか) さん

【日系青年ボランティア第25期 ブラジル共和国 日系日本語学校教師】

世界中で活躍するJICA海外協力隊。2009年からブラジル共和国で日系日本語学校教師として活動した大浦さんにお話を聞きました！



ブラジルは南米で最も面積の広い国で、日本の約22.5倍。世界各国から移民を受け入れる多文化の国です。真夏とサンバのイメージですが、サンパウロでは冬には霜があり、南の地域では雪が降りリンゴが収穫できるほどです。人々はおおらかで、家族との時間を一番大切にしています。



子どもの頃から「海外で日本語教師になる！」と夢見ていた私が派遣された国は、ブラジルでした。ブラジルに住む日系人の子どもたちへ日本語を教える「日系日本語教師」としての派遣です。

ブラジルは1908年から日本人の集団移住が始まっており、パラグアイやペルーなど、中南米には今も多くの日系人の皆さんが生活しています。私が派遣された2009年は、ブラジル移住100周年を迎えた翌年で、すでに4世・5世の世代となっていました。日本のルーツを大切に、日本文化や日本語を子どもたちに学ばせたいという親御さんがたくさんいらっしゃいました。私の祖母の妹もブラジルへ移住していたので、ブラジルはとても親しみを感じている国でした。初めての海外滞在で、2年間帰国ができない状況でも、不安を感じずに過ごすことができたのは、ブラジルとの深い縁を感じていたからだと思います。

派遣先は、サンパウロから高速道路で1時間ほどのモジ・ダス・クルーゼス市近郊にある、ピンドラマ日本語学校です。初めてサンパウロから学校へ向かう車内からは、舗装されていない道路の鮮やかな赤い土が目に見え、びっくりしました。抜けるような青い空と鮮やかな赤い土のコントラストに「ブラジルに来たんだ！」と実感したことをよく覚えています。この学校は、ピンドラマ農村協会という日系人協会が運営しており、公立学校ではなく、塾のような教育施設です。日本語学校の向かい側には、小中一貫の小さな公立学校があり、子どもたちは午前・午後と学年を入れ替えて通います。そして、公立学校に行く前か学校終わりの都合の良い時間に、日本語学校へ通うという仕組みです。公立学校では、音楽や体育の授業がないので、日本語学校では週に1回は音楽と陸上の授業があり、生徒と一緒にグラウンドを汗だくで走っていたのは良い思い出です。

5年前にブラジルを再訪した際は、当時の教え子とその家族が50人以上集まり、パーティーを開いてくれました。子どもたちと過ごした時間は本当に忘れがたく、ブラジルは今でも私の心の故郷です。



街なかにある鳥居 (モジ・ダス・クルーゼス)



陸上大会で優勝した生徒たち



運動会でよさこいの出番を待つ生徒

長崎県内で国際交流・協力を行う団体の紹介ー佐世保国際交流ボランティア協会ー

長崎県内には、国際交流・国際協力を行う様々な団体があります。今回は、今年で設立25周年を迎えた、佐世保国際交流ボランティア協会（Friendship International Sasebo）の代表を務める菊池善明さんに、現在の活動内容についてお話していただきました！

佐世保国際交流ボランティア協会（FIS）は、時代の要請にこたえ1998年に有志の皆さんの熱意により設立されました。以来、佐世保市近郊在住の外国人に対して、日本語支援ボランティア活動を行っています。現在、市内2か所で週4回の日本語クラスを開いており11か国・30名の外国人が参加しています。技能実習生、留学生、外国語指導助手（ALT）、国際結婚で佐世保に移住してきた方、日本の学校に通う小中学生、高校生など職種は様々で、西海市、松浦市、波佐見町など遠くから熱心に参加する学習者もいます。私自身は退職後に活動をはじめて15年になりますが、一昨年から代表を務めています。



日本語クラスの様子

日本語支援に携わるボランティアは、30名が登録されており、そのほとんどが主婦の皆さんです。FISでは、原則として学習者とボランティアがマンツーマン方式で指導しているのが特徴で、そばに寄り添いながら指導するほうが相互の信頼関係も深まり、教える側の責任感も芽生えてくるようです。クラスによっては、ボランティアが不足するケースもありますが、クラス同士で融通・調整しながらマンツーマンの原則はできるだけ崩さないように努力しています。ボランティアの中には週2回、3回を担当する方もいます。そうしたボランティア一人一人の献身と努力がFISの大きな原動力となっています。

学習者に共通していることは、様々な日本文化を体験したいという強い思いです。そのため、FISでは日本語支援以上に交流イベントにも留意し、積極的にイベントを開催したり、地域のイベント情報を発信しています。コロナ禍で一時的に活動を縮小せざるをえないこともありましたが、今では4年前の日常に戻りつつあります。ローカル列車に乗って花見に出かけたり、9月に開催した多国籍料理教室には、約25名が参加してくれました。10月はハロウィンパーティー、12月は4年ぶりにクリスマスパーティーを行います。人気の着物着付け体験も随時開催していきます。

技能実習制度、特定技能制度の見直しにより、外国からの受入れが容易になることが予想されますが、外国の方々「ことばの不安」を解消し安心して暮らせる共生社会を作れるようこれからも活動してまいります。



松浦鉄道に乗ってお花見へ



多国籍料理教室



ボーリング大会

◆佐世保国際交流ボランティア協会（Friendship International Sasebo）

〒857-1174 佐世保市天神2丁目200-26

TEL：080-6293-7955 E-mail：fis_sasebo@space.ocn.ne.jp



協会からのお知らせ

🍁 カレンダー市 2024 ～あなたもできる国際協力～

カレンダー市では、企業等から寄付していただいたカレンダー・手帳を100円から販売します。収益金は、フィリピンのNGO団体「Development Action for Women Network」「Childhope Philippines Foundation」に全額寄付させていただきます。入場無料で、どなたでもお越しいただけます！皆さまのご来場をお待ちしています。

- 日時：2024年1月7日（日）10:00～16:00
- 場所：長崎県美術館2階ホール（長崎市出島町2-1）
- 主催・問合先：長崎大学 学生国際NGO BOAT
(E-mail: boat.kannbu@gmail.com)
- 個人でのカレンダーの寄付は受け付けていません。
- お渡し用の袋は有料です。マイバッグのご持参をおすすめいたします。
- 当日37.5度以上の熱がある方は、入場をご遠慮いただきます。



2022年1月のカレンダー市の様子
(於：長崎県美術館2階ホール)

🍁 ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ

外国の文化を気軽に楽しく体験したり、国際交流を行うイベントを実施します。様々な楽器の演奏や海外の民族音楽を披露するステージイベントのほかに、長崎市内で活動する国際交流団体の活動紹介や外国の民族衣装の着付け体験など、いろいろな国の文化を体験できるブースがあります。変面ショーもあります。ぜひ遊びに来てください！
※当日「ちゃんぽん」は出ません。

- 日時：2024年1月20日（土）12:30～16:00
- 場所：長崎ブリックホール3階（長崎市茂里町2番38号）
- 主催・問合先：長崎市役所 国際課（TEL：095-829-1113）

長崎市国際課HP
より情報をご確認
ください！



🍁 令和5年度助成金事業の申請団体募集中！

長崎県国際交流協会では、長崎県内の民間団体等が行う多文化共生や国際交流等を支援するため、二つの助成金事業を実施しています。どちらも2024年3月31日までに実施する事業が助成対象です。助成金の申請は、事業実施の1ヶ月前まで行ってください。なお、助成金の申請には諸条件がありますので、申請を予定されている団体は、お早めに当協会にご相談ください！

🌱 草の根国際交流支援事業

- 助成対象：国際交流の経験がある民間団体、多文化共生に取り組みたい企業
- 助成概要：多文化共生事業については、対象経費を100%補助（上限10万円）
その他国際交流・国際理解事業については対象経費の1/2補助（上限10万円）

🌱 国際交流スタート支援事業

- 支援対象：国際交流事業等を初めて行う民間団体
- 支援概要：イベントや講座の企画・運営のサポート、対象経費を100%補助（上限10万円）



令和5年度草の根助成団体
東山手「地球館」のイベントの様子

～ 外国人支援事業を応援してくださる賛助会員を募集しています！～

賛助会員として長崎在住外国人を応援しています！

安達株式会社 扇精光ホールディングス株式会社
ヤナセ産業株式会社 長崎県青果移出商業協同組合

年会費 個人会員： 3,000円
法人会員： 10,000円

※詳しくは、長崎県国際交流協会までお問合せください。